

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどものつむぎ3号 放課後等デイサービス

公表日 2025年3月11日

利用児童数 2名

回収数 1

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	つむぎ内はこどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1				十分にあり、喜んでいる。	今後も収納など工夫し、十分に広いと感じてもらえるよう検討していきます
	2	職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。		1				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がされていたり、清潔で心地よく子どもたちの活動に合った環境になっていますか。	1					
適切な 支援の 提供	4	つむぎの職員の支援は、こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援ができていると思いますか。		1				
	5	事業所が公表している支援プログラム（HPに掲載されています）は、事 業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		1				
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。		1				
	7	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。		1				
	8	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		1				
	9	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。		1				
	10	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。		1				
保護 者へ の 説 明 等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。		1				
	12	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。		1				
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。		1				
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。		1				
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		1				
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1				
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。		1				
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	1					
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信 されていますか。		1				

	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満足度	26	こどもは安心感をもって通所していますか。	1				
	27	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	28	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどものつむぎ3号 放課後等デイサービス			公表日	2025年 3月 11日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がされていたり、清潔で心地よく子どもたちの活動に合った環境になっている。	3	0		
	4	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0		
業務改善	5	職員の意見等を把握する機会を設け業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しその内容を業務改善につなげているか。	1	2		PDCAは開いていない
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2		開所して間もないためこれから実施
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	1	2		開所して間もないためこれから実施
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		開所して間もないためこれから実施
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	11	個々の子どもに対して標準化されたアセスメントツールを用いて適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	14	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。支援開始前には職員間で必ず打合せを設定し、スタッフ間の役割分担を行い、支援後は定期的な振り返りを行い気付いた点を共有している。	1	2		個別療育であるため集団活動は実施していない
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	20	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	0		
	21	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0		
関係機関	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				

や 保 護 者 と の 連 携	27	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。				
	30	放デイ部会などの自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	0	3		
	31	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0	3		
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	33	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1		家族が参加できる研修はしていない
	34	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	35	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	36	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	37	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	0		
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0	3		まだ実施していない
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0		
非 常 時 等 の 対 応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	3		まだ行っていない
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	46	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0		

○事業所名	こどものつむぎ3号 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～	2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～	2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1時間の個別療育を保護者にみてもらい、こどもの成長や頑張りを一緒に共有することが出来ます	・療育内容の振り返りをしたり、保護者からご家庭で様子を聞くための時間をとるようにしています。 ・相談員さんに見学に来て様子をみてもらうようこちらから発信しています。	・4月より職員を増員し、多職種それぞれの専門性を活かした療育に繋がります。 ・療育担当した職員は他の職員と情報を共有し、画一したサービスを提供出来るようにします。
2	地域での自立生活にむけた個別療育を提供できます	利用児が地域で自立生活していくために必要なスキルを見据えプログラムを一緒に考え実施できます。例えば買い物でお金の計算をする、一人でレジを経験するといったソーシャルスキルトレーニングも取り組みます。	・集団療育は人数が増えれば可能です。 ・4月より職員を増員し、多職種それぞれの専門性を活かした療育に繋がります。 ・療育担当した職員は他の職員と情報を共有し、画一したサービスを提供出来るようにします。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長時間預かることが出来ないことです。	当事業所が個別療育を主としており、預かりの体制ではない為です。	利用児や保護者に満足してもらうよう、今後も個別を活かした関りやサービスを提供していきます。
2	集団プログラムを実施していないことです。	開所して間もないため、小集団でのプログラムを実施できる利用児の人数が揃っていません。職員の人数も揃っていません。	小集団でのプログラムを実施できる利用児の人数と職員数が揃えば、こどものつむぎ1号2号のように小集団プログラムも検討し、個別と集団を柔軟に組み立てることが出来ます。
3	研修やイベントなどの保護者同志の交流の機会がまだないことです。	まだ開所して間もないため。	来年度利用児や保護者同志の交流の機会となるイベントや研修会を企画します。